広報かしわ

編集発行　千葉県柏市総務課調査係
印刷　有限会社（栄光社）秋元印刷所

む望を沼賀手より張戸

2月の人口

柏市の2月1日の人口、世帯数は次のとおりです。

人口　60.599人
世帯数　12.875
面積　73.1方粁

脚光浴びる手賀沼観光

カ洲デズニーランドに次ぐ楽天地
黄金の年三五年より建設にかかる

遠い私たちの先祖は手賀沼の周辺に住居をかまえ、魚貝や野獣をとり又水出を切り開いて農耕を営み豊かな郷土を築いて来た。中世の頃より長い間当地方の広大な原野は小金ケ原牧場として栄え若駒の嘶きや蹄の音が響きわたり、戦国の世に幾多の名馬が送り出されたと伝えられている。

爾来幾百年美しい自然の環境に包まれた私たちの郷土も近来首都東京の衛星都市の渦中に入り近代都市としての建設が進められて来た。

首都圏整備法による衛星都市建設を更に前進させるために手賀沼沿岸開発については、柏、我孫子沼南、の三市町村において手賀沼沿岸開発協議会をつくり、又東葛中部地区総合開発と併行して鋭意努力を続けて来たが漸く中央の一流財界人の着目するところとなり手賀沼観光株式会社が設立されることとなつた。

新年早々、開発協議会を開催し三市町村はこの事業に対し全面的に協力しこれを迎え入れる態勢を整えることを決定し、更に十三日会社側代表の出席を求めて協議会を開き計画の概要説明及び事業推進上の諸問題について討議され、いよいよ本事業も本格的に進められることになり、手賀沼観光もようやく脚光を浴びることとなつた

手賀沼は面積十二平方粁、延長十六粁に及び水深一、三米の細長い湖沼でコイ、ウナギ、フナ、などが棲息し、周辺高台には針葉樹闊葉樹が生い繁り、静寂な大自然の風致美をとどめている。

一方に日体高校の建設が進み、更に本年ここに東洋の夢の国とも称すべき一大楽天地が誕生しようとし、まさに黄金の年にふさわしく希望に輝いている。

手賀沼観光株式会社
事業計画の概要

一、方針

1 自然的条件なかんづく手賀沼周辺の風致美の保存、保護につとめるとともに、これら風物の活用したレクリエーション施設に主眼をおき、各施設は安全快適でかつ近代的感覚の溢れたものとする。

2 行楽客の対象を一般大衆におき老若男女それぞれレクリエーションの目的を十分達せられるよう配慮すると同時に特に小、中学校児童生徒に対し、動植物の生態観察、その他科学的知識の普及向上に寄与できる施設の整備に留意する。

3 用地の獲得に当つては原則的には農地を避け、農林省、千葉県当局地元市町村の認可、諒解を得つゝ、逐次に手賀沼沿岸水面の一部堰立を行いこれが活用を図る。

一、建設予定地
千葉県柏市、東葛飾郡我孫子町、全沼南村にまたがる手賀沼西部周辺地域及び水面の一部で農林省手賀沼才二期干拓工事予定地域以西の地区

一、用地

1 購入予定地（主として、山林原野）
約二〇〇、〇〇〇坪
柏市東台周辺
沼南村箕輪城山周辺
我孫子町我孫子新田周辺

2 堰立造成予定地
約二〇〇、〇〇〇坪
我孫子町我孫子新田沿岸水面
同対岸沼南村沿岸水面
柏市沿岸水面

二、施設概要

1 手賀沼パークハウス、鉄筋コンクリート造三階建二、五〇〇〇坪、内部施設及び付属施設

2 手賀沼タワー、鉄骨造高さ八〇米、地上四〇米の所に廻転式展望台を設置その他付属施設

3 児童科学村、スクールロッジ、スクールキャンプ、科学施設、

4 野外劇場、正面舞台を中心に扇形スタンドを設け広く利用する

5 大噴水塔、照明設備を施した大噴水塔を沼中央付近に築造する

6 自然動物園、人工島を作り動物を放飼して自然動物園とする

7 ボート乗場、遊覧船発着所、三地区に整備する

8 体育及び遊技施設
(1) 大小プール、一〇〇米×五〇米、二五米×一五米を沼に隣接して設備する
(2) 小運動場、二乃至三面設置し、広範囲の利用に供する
(3) 釣堀
(4) 舟艇類、モーターボート、ボートを三地区に適宜配置し、遊覧船は我孫子、柏、沼南地区をリレーする

9 湖畔道、プロムナード、サイクリングコース、ドライブコース等を建設する

三、その他の施設
植物園、養漁場、その他の附属施設を完備する

四、総所要資金　一五億円

センサスは明るい農村生む力

来る二月一日から農業国勢調査ともいうべき一九六〇年世界農林業センサスの本調査が実施されますので、そのあらましを紹介します。

（世界農林業センサスとは）

この世界農林業センサスというのは、「経済統計に関する国際条約」によつて世界一〇〇余ケ国と共に行う調査のことです。この条約に加盟している諸国は国際連合の農業関係の機関であるF・A・O（国際連合食糧農業機構）の示す「センサス要綱」により、十年目毎に一回センサスを行い、国際比較のできる統計を作成して国際連合に報告する義務があるのです。

（本調査の体系）

このセンサスは、農業調査と林業調査の二つから成り立つています。農業調査は農家調査、農業事業体調査、農業集落調査の三つに分れ林業調査は林家調査、林業事業体調査、林業地域調査の三つに分れています。以上の六つの調査からセンサスは成り立つていますが、中心となる調査は、農家と林家を対象とする調査であり、またこの二つの調査は農家や林家の皆様に直接お伺いして行う調査でもありますので、この二つについて紹介いたします。

（センサスのねらい）

わが国の全部の農家や林家を調査するのはこの世界農林業センサスだけでありますから、単に国連に報告するための統計をつくるだけでなく、このセンサスには次回の農林業センサスが行われるまでの十年間、わが国の国勢、とくに農政上必要な基礎的統計資料を作るという大切な任務があります。この資料にもとずいて、適地適産奨励、畑作振興、農林生産力増強及び調整、流通の改善など、農家が安心して農業を行えるようなガッチリした政策をたてるもとになるものであります。このように、わが国の農政の樹立実行上必要な統計を作ることが最大のねらいでありますが、同時に市町村における新農村建設計画その他各種の政策実行に当り市町村で利用できる統計を作ることも重要なねらいとなつています。

世界農林業センサス
調査員には安心して答えましょう

（調査事項）

農家調査で調査される事項は

イ、世帯員の男女別年齢別人員
ロ、従事している職業の内容
ハ、経営したり所有している土地の種類別面積
ニ、土地利用や耕地移動の状況
ホ、飼養している家畜の種類別頭羽数
ヘ、畜力利用状況
ト、農業機械の所有台数と利用状況
チ、雇用した農業労働の状況
リ、肥料の種類別施用量
ヌ、農産物の種類別収穫面積、収穫量、販売額

などです。

農家で林業を行つている場合は次の事項が調査されます。

イ、所有したり賃したりしている山林面積
ロ、山林の種類別面積
ハ、人工林天然林別の樹令別面積
ニ、針葉樹闊葉樹別面積
ホ、植林面積
ヘ、販売したり自家用に生産した林産物の種類別の販売量、販売金額、生産量
ト、五年間の林産物の総販売金額
チ、植林、手入、製薪炭、伐出などのためかゝつた自家、雇用請負その他別労力

などです。林業については非農家であつても以上とほゞ同じことが調査されます。

（調査をうける世帯）

センサスの対象となる農家は、耕地面積が一反歩以上の世帯です。これ以下であつても農林生産物販売額が二万円以上ある世帯も農家とする約束があります。林家の方は所有している山林が一反歩以上ある世帯ということになつています。

（調査する人）

調査を担当する人は市長が推せんし、農林大臣から任命されている「一九六〇年世界農林業センサス調査員」です。調査員は大部分皆様の町会の方々です。

（調査のしかた）

調査員が直接お訪ねし、直接調査をいたします。今回のセンサスの調査票で農家の部分だけですと大体一戸平均四十分～五十分程度で済む内容です。前記の調査内容についてお手数でも予め調べて居いて頂ければ好都合です。

（調査協力についての御依頼）

この調査をうけられる世帯では調査員から知らせのあつた日時に世帯主または農業や林業について詳しい方に在宅して貰きたいと思います。もしその日時にご都合の悪いときは予め調査員の訪問日時を変更するようご相談下さい。

つぎにこの調査は統計法による指定統計（指定統計二十六号）として行われますので、調査した結果を他人にもらしたり、統計以外の目的に使用することは絶対できないことになつておりますから、調査員がお訪ねしたときはありのまゝを教えてください。

（むすび）

以上一九六〇年世界農林業センサスのあらましを申上げました。

このセンサスはわが国の農林業の発展上極めて重要な調査であると共に、今後一〇年間にわたり、中央においても地方においても農政上の重要な統計資料として利用される大切な調査です。市内の農家と林家の皆様にはこの国際的な大調査が立派に行われますようご協力願いたいと思います。

商工課　統計係

公益貸屋

皆様の金融機関公益貸屋
御手軽に御利用下さい
貸付金は…
最高　一〇〇〇〇円まで
利子は…
一〇〇〇円に付　一ケ月　三〇円
半月　一五円
営業は…
平日朝八時三〇分から
日曜祭日は休業
初めての方は米穀通帳と印鑑を御持参下さい

固定資産税
第四期分
納期
二月二十九日
まで

柏市財政状況の公表

財政白書

昭和三十四年度上半期と
昭和三十三年度の決算

柏市財政状況の公表書

地方自治法第243条第1項及び柏市財政状況の作成及び公表に関する条例の定めるところにより、昭和34年4月1日より昭和34年9月30日までの財政状況並びに昭和33年度決算の概要を公表します。

昭和34年12月23日　柏市長　濱嶋千代丸

法律及び柏市条例の定めるところにより、昭和三十四年度一般会計の上半期収入支出、住民の負担、公営事業の経理の概要及び財政、公債、一時借入金の状況並びに昭和三十三年度決算の概要が次のとおり公表されましたので、市民の皆様にお知らせし、市政への御理解と一層の御協力を御願いいたします。

収入支出の概要

(1)予算について

当初予算額二七九、三四一千円で、前年度当初予算額二五三、五三七千円に比して、二五、八〇四千円、一〇、二%の増加となつている。更正予算は、九月末までに四回行われ、第一回六月の追加更正に、第二、二四二千円、第三回に一三、四一三千円、第四回七月に、三二三円千、第四回に、一、三八〇千円、合計一九、三五八千円が追加更正されました。この財源としては、繰越金、選挙委託金、国庫支出金、県支出金、寄附金、雑収入、負担金、市債、及び予備費減額等により充当されました。

(2)収支状況

予算に対する収入率は、各年逐次上昇を辿り、四四パーセントと前年度より、一、二パーセント上昇した。財源の約五割を占める市税は、四六、四パーセントで前年度より、二、七パーセントの増となつた。各税目別の調定額及び収入額は別表のとおりである。

地方交付税の本年度の決定額は四三、五七一千円で九月末までに三三、五三六千円収入済で残額は十一月に交付される（収入済）

特別交付税は、三、四二九千円の収入見込を立てているが、中京方面の災害が大きかつたため、予定より大分減る見込である。

分担金、負担金の収入率が著しく低いがこれは道路下水等の受益者負担金であり、工事進捗と相俟つて順次収入される見込である。

繰入金の内容は競輪組合よりの繰入で千葉競輪開催配分金で、あ[illegible]帳戸一回、千葉一回が残されており略予算額に達する見込である

市債は、配分の関係上決定がおくれており十二月末までには、決定される見込である。支出は、三六、九パーセントで前年度より〇、四パーセント多い。収入支出共予算に対する執行率は、毎年高くなつているが年度末にかたよる旧来の悪習より脱し財政が正常化しつゝある現われである。

各款別の収入支出の状況は、夫々別表のとおりである。

住民負担の概要

市税の住民負担の状況は、別表のとおりであるが現年度分調定額についてみると、二、一八八円で前年度の二、一九〇円に対して二円の減となつている。

特別会計

公営事業経理の概要

一般会計以外の公営事業は、上水道事業、国保事業、國保施設、公益質屋事業、有線放送事業、西口區画整理事業等であり、九月末における収支状況は次のとおりであるがいづれも他の会計よりの繰入金によつて収支がつぐなわれており、特別のものを除いては、特別会計独立採算の原則より、今後会計自体の収入によりまかなつて行くべく内容を検討し経営の合理化を図つて行くよう考えられている。

上水道事業特別会計収支状況

予算額	五三、四七四千円
収入済額	七、三三五千円
収入割合	一三、七%
支出済額	一七、六四四千円
支出割合	三三、〇%

使用料う[illegible]定収入及び給水状況

調定額	四、五七三千円
収入済額	四、一一七千円
昭和34年3月31日現在給水戸数	二、〇四七戸
昭和34年9月30日現在給水戸数	二、〇四七戸
増加数	二、四一八戸
	三七一戸

国民健康保険事業

勧定収支状況

予算額	二三、〇三五千円
収入済額	一一、九〇六千円
収入割合	五一、七%
支出済額	六、八七四千円
支出割合	二九、八%

国民健康保険

施設勧定収支状況

予算額	二、〇〇〇千円
収入済額	五八七千円
収入割合	二九、四%
支出済額	六五六千円
支出割合	三二、八%

国民健康保険給付状況

療養の給付	一八、三四二件
	七、六五三千円
助産費	一三三件
	六六千円
育児手当	一〇四件
	六一千円
葬祭費	八〇件
	七九千円

診療所利用状況

	九〇二件
	一六四千円

公益質屋事業収支状況

予算額	五、二九六千円
収入済額	三一四千円
収入割合	五、七%
支出済額	三二四千円
支出割合	六、一%

有線放送事業収支状況

予算額	六、二三六千円
収入済額	三、〇九二千円
収入割合	四九、六%
支出済額	四、〇三一千円
支出割合	六四、六%

柏駅西口区画整理事業

収支状況

予算額	三二、六四六千円
継続費繰越額	二、四一五千円
計	三五、〇六一千円
収入額	二、四一五千円
支出額	一五六千円

今後の財政について

合併市制施行後既に五年を経過した、適正規模の団体を作ることにより消費的経費を節約し行政水準を高めることを目的とした町村合併は略その目的を達した。

本市の決算に見ると消費的経費の割合は、昭和二十九年度の六十パーセントより昭和三十一年には四十六パーセントに減つて来ている。

有線放送の施設も新市の速かな一本化のために新市町村建設事業として取上げられ既に完成をみた今後は財政の裏付により住民の要求に沿つた市の建設事業を進めて行きたい。

本市の人口増加は著しい伸長を示している。昭和三十三年度決算才入の前年比増加率は、二十二、九パーセントで全国市町村平均の八、七パーセントに比較すると一四、二パーセント増と本市の発展状況を如実に物語つている。然し前年度の二十九、三パーセントと比較すると増加率は鈍化して来ている。

この急激な発展は必然的に才出の増大をもたらし土木事業、學校施設整備、社会福祉施設の整備等数多くの事業が要求されている。

これらの諸問題を解決するにはつまるところ金であり地方公共団体でいう財政の運営である。

市の財政は、昭和三十、三十一年頃と比較すると資金繰はよくなり安定して来ているとは言へ、なお多くの必要事項を残している。

又負担金寄附金等の名目で負担を住民にかけ行政水準も決して高いとは言へず真の健全財政ではない

健全財政運営への道で当面の課題は財源の確保であるが急には解決できるものではない。除々にでも長期の安定計画の上に立つた制度措置或は企業等により健全財政即ち収入の均衡を保つ様努力し自主財源である税の徴収率の向上につとめ財政の収支については、苟くも放漫財政に流れることのない様運営して行きたいと思つております。本書により市民各位には、市財政の実状を認識され財政について一層の御協力御指導をお願いし財政状況の公表といたします。

昭和三十三年度決算の概要

昭和三十三年度一般会計及び特別会計の決算状況は次のとおりである。

一般会計においては、才入決算額が予算額を上廻り才出不用額と合算して差引一三、二六五千円の翌年度繰越金を得た、火葬場建設事業は種々の事情により工事着工が出来なかつたので事業を三十四年度へ繰越した。

特別会計においては、一般会計より一〇、六五〇千円の繰入金により収支をつぐなつたが、特別会計独立採算制の原則に省みて今後事務の合理化と経費の節減、収入の増収により繰入金の減額を図り内容を充実し財政の健全化を図りたい。

昭和34年度市民の市税負担状況
現年度調定（9月30日現在）

税目	一人当	一世帯当
固定資産税	1,199円	5,687円
市民税	589	2,793
都市計画税	162	769
たばこ消費税	135	638
電気ガス税	80	378
軽自動車税	23	107
合計	2,188	10,372

昭和34年度一般会計予算執行状況

9月30日現在